

目標達成計画

事業所名 ケアパーク和月グループホーム1階

作成日 : 平成 27 年 11 月 17 日

評価結果

市町提出日 : 平成 27 年 11 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念が抽象的である為、職員間で理解やその実践方法にバラつきがあり、不安感や指導方法に対する不満がある。理念の具体的な実践方法を文章化しての教育が必要。	理念に基づいたグループホームの約束を配布し、10ヶの項目について事例を記し、定期的な会議で職員間の意志の統一を図る。	定期的な全体会議の中で、項目別の事例を提示し、理解の統一を図っていく。	6 か月
2	35	訓練と実際ではギャップがあり過ぎるので、その日の災害当番と役割分担「まず、1番に何をするか？」等の明示や訓練に消極的な利用者に参加を促す工夫も考えられたい。	動ける入居者だけの訓練ではなく、歩行困難な方や重度の認知症状の方にも、安全な避難方法で誘導できるようにする。災害の役割分担を定める。	日頃から避難の話題作りを行う。訓練当日も重度認知症の方に対してもわかりやすい説明を行うことにより、スムーズな誘導となる。災害当番の初期消火担当者は出火場所に応援に行くことのマニュアルを作成する。	3 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。